

明治大学ハーモニカソサエティ
第111回 定期演奏会



11/14(土) 有楽町読売ホール



部長 北島 忠男

今年の夏は天候不順のうえに炎暑の日が多く、残暑がいつまでも続き、そのうえ10月中旬には台風が四国に上陸するなど、天候にはめぐまれず秋を迎えることになりました。そんななかでマドンナやマイケル・ジャクソンの公演があったりして、音楽ファンは大変フィーバーしたようです。

以前には、音楽喫茶というのがあって、お客は皆じっと音楽に聴き入り、瞑想しているのでスプーンを立てるのものはばかられたものです。このように音楽は心の情感で受け止め深刻に耳傾けるものだと考えている人が多かったようです。音楽のジャンルにもよると思いますが、今では多くの若者たちは音楽を身体全体で受け止めて、音楽と演奏者と聴衆とが一体となってフィーバーしなければ音楽に接したことになるかと思っているようです。音楽は聴くだけのものではなく体験するものとなっています。

第111回目の明治大学ハーモニカ・ソサエティーの定期演奏会に際し、ご来場の皆様がソサエティーの音楽を心ゆくまで体験されますよう、また、今後とも変らぬご声援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。



OB会会長 布施 莊兵衛

吾が明治大学ハーモニカ・ソサエティーは、今を去る大正7年にコーリン会と云う団体が結成され、翌大正8年に明治大学ハーモニカ・ソサエティーと云う名称に脱皮されて今日に至ったものであった。それ以来70有余年の星霜を経て今日に至ったものであったが其の間、分裂脱会等の雑問が有った。しかしそれを乗り越えて今日に及び、日本でも勿論の事、世界でも類例のない輝かしい歴史を作ったのである。如何にOB達が苦心惨憚したかは想像に余るものが有った。

現在の演奏曲目にはクラシック曲が全然見当たらないのは残念至極の事であるから2、3曲目はクラシック曲を取り入れては良いのではないかと思うが現部員はどう考えて居るのだろうかと同時に演歌歌手ではない音楽家の出演を特に希望する処であり真の芸術味溢れる歌を聞きたいものであります。

本日第111回の演奏会に当り御多用中御来場下さり真に有難く存じますと同時に今後益々御声援と御鞭撻の程を伏せてお願い申し上げます。



幹事長 山口 清一

本日は、御多忙の中、私共明治大学ハーモニカ・ソサエティー第111回定期演奏会に御来場頂き、誠にありがとうございます。

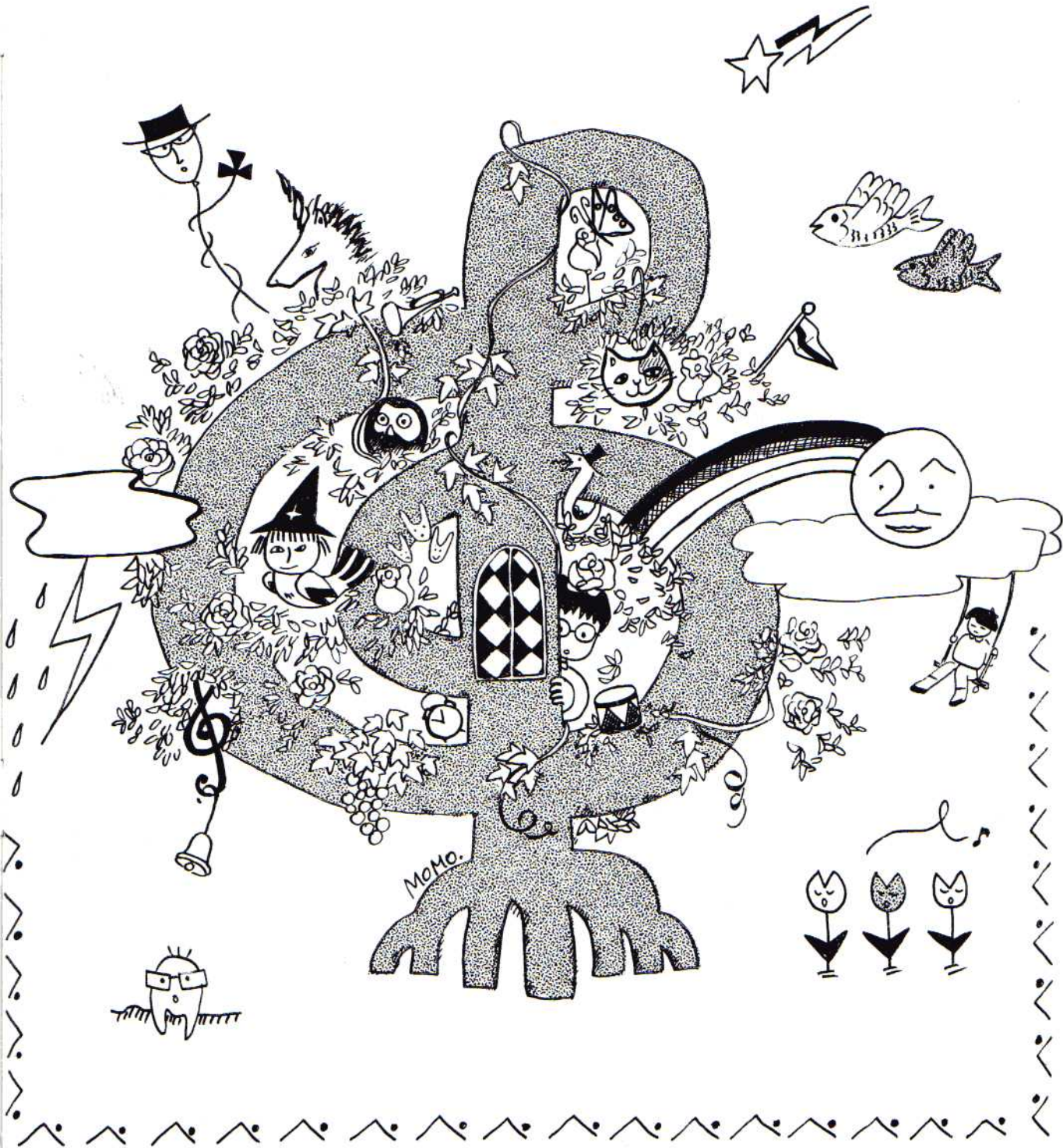
私共の定期演奏会も、回を重ねて111回目を迎えるに至りましたが、この歴史も、ひとえに諸先輩、OBの方々の並々ならぬ努力と、皆様の御支援に支えられたものであります。今年を締めくくる今宵の演奏会も部員一同、日頃の練習の成果を出し尽くして、皆様の御期待に答えるべく、はりきって行きたいと思っております。

さて、このハーモニカ・ソサエティーのコンサートも御馴染みのお客様も多いかと思いますが、楽器編成も演奏曲目もバラエティーに富んで、幅広い音楽を日々追求しております。その中で、昔から親しまれてきた音楽、永遠に忘れ去ることのないものを、新しいセンスも織り混ぜて、皆様の心に残しておきたいと思っております。今夜も“Heart Alive”と題しますコンサート。皆様を「ハッ」とさせる場面が登場します。いささか、お聞き苦しい点もあるかと存じますが、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

最後になりましたが、この演奏会開催にあたり、御指導、御尽力頂いた諸先輩をはじめ関係者の方々、並びに御来場の御支援に厚く御礼申し上げます。

Heart Alive!!

「今日は、これから、ふうせんうさぎと火星人とゆきちゃんちのお兄ちゃんと一緒に“ぶいらあとあは”の実をとりに行きます。もう、まっかに熟してて、おいしいんだって。」



1st Stage Conductor

西田俊也(3年)。工学部でありながら、明大前に住み、それでいて御茶ノ水の練習にもちゃあんといたりする不思議なお兄さん。日頃は、意表をついたキーボード演奏や、時に人を石にしてしまう威力ある冗句などで私達を楽しませてくれています。雨にも風にもハチにも負けず合宿を乗りきり、アレンジ3曲を手がけ、そして1部の指揮までつとめてしまう彼は、やっぱりすごく偉い人だったのです。というわけで、その活躍ぶりをごゆっくり御覧下さい。



1 ハリウッド

music : メイナード・ファーガソン
arr. : 西田 俊也

4 TAXI DRIVER

music : トム・スコット
arr. : 加藤 郁子

2 BRAZIL

music : アリー・バローゾ
arr. : 正田 雅博

5 パミュエダ・トライアングル

music : バリー・マニロウ
arr. : 西田 俊也

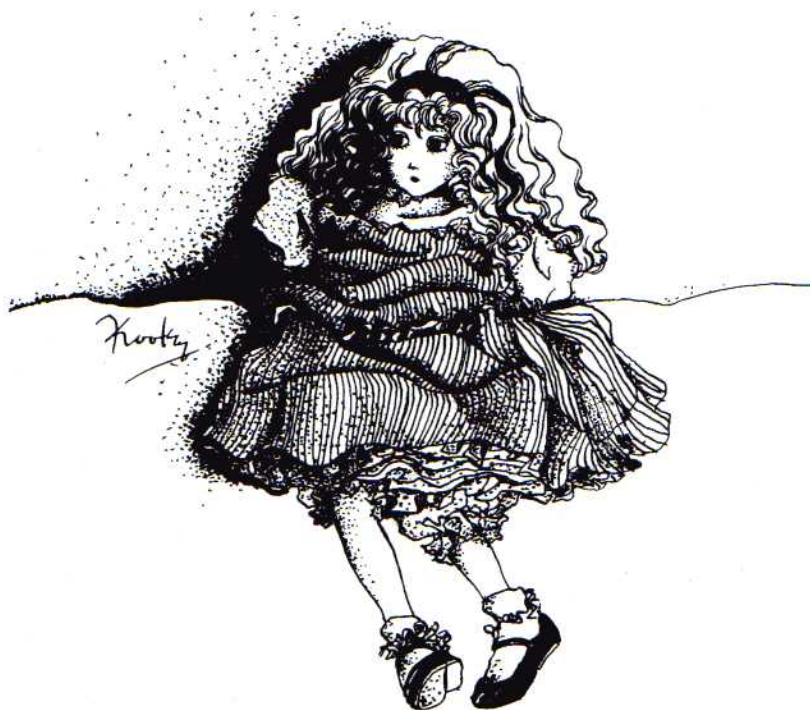
3 THE GIFT

music : イーディ・ゴーム
arr. : 田中 和美

6 You Can Have Me Anytime

music : ポズ・スキヤツグス
arr. : 西田 俊也

2nd Stage



FOR ONCE IN MY LIFE

Arr. by Y. Okimoto

あの日に帰りたい

Arr. by M. Morihana

ビートルズメドレー

Arr. by D. Miyai

カルテット

卒業演奏

3rd Stage



1. 黄昏で見えない

music by Square
arr. by D. Miyai

暮れる街かど涙にぬれて、かすむあなたの横顔がたそがれで見えない……。

2. ひき潮

music by Robert Maxwell
arr. by Y. Furukawa

流暢かつ繊細なヴィブラフォンの響きに、いつしかあなたの目は潤んできてしまうのです。

3. Melodies of Love

music by Joe Sample
arr. by K. Kodera

女性的かつパワフルである、ピアノとクロマチックソロの競演に、うっとりさせられるばかり。気持ちよく、させたいです。

4. 酒とバラの日々

music by T. Thielemans
arr. by T. Nagai

酒におぼれて目の前がバラ色、という生活を歌った曲です。ソリストの将来を暗示しているということは否めません。



